



ライセンス : Light、Standard

FUJIFILM IWpro 体験手順書

CASE056 : 部門課題を社内データ×AIで解決

2025年11月

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

商標

- Microsoft、Azure、Excel、Microsoft Edge、Microsoft Entra、Microsoft Teams、Microsoft 365、Office 365、OneDrive、Outlook、PowerPoint、SharePoint、Visio、Visual Basic、Visual Studio、Windows、Windows Hello、およびWindows Serverは、マイクロソフトグループの企業の商標です。Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。
- FUJIFILM、FUJIFILM ロゴ、FUJIFILM IWpro、およびFUJIFILM IWpro Intelligent Assistantは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

本書のご利用にあたって

本書では、体験レシピの内容を実際のFUJIFILM IWpro IWpro Intelligent Assistantオプションの環境で体験いただく手順をご案内いたします。

使用許諾条件（次ページ掲載）をご一読のうえ、手順に沿ってお試しください。

初めてFUJIFILM IWproで環境をご利用開始される場合は、[活用ライブラリー](#) > [実践スキル](#) > 学ぶの『[はじめに実施すること](#)』を実施ください。

なお、本書は使い方を体験いただくことを目的とし、設定内容や同梱されるデータはすべてサンプルです。

実業務でご利用になる際は、お客様が利用される帳票やデータを使って事前に十分にご確認の上、必要に応じて設定を変更いただきご利用ください。

設定の変更に際しては、下記情報をご活用ください。

■ サービス マニュアル

https://opencds-fb.fujifilm.com/gen/fbiwpro_aux/help/ja/manual/index.html

■ 使い方ガイド

https://opencds-fb.fujifilm.com/gen/fbiwpro_aux/analytics/ja/howto/index.html

<FUJIFILM IWproをご利用中の方へ>

表紙右上に記載のライセンスをご利用中でない方は、本キットをダウンロードしたページの「FUJIFILM IWproの環境をお持ちでない方」より、新しいお試し環境をお申込みのうえ、実施ください。

FUJIFILM、FUJIFILMロゴ、およびFUJIFILM IWproは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
その他、本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

使用許諾条件

本手順書ならびにCSV形式のサンプルデータ（以下、提供物とします）の使用許諾条件は、以下に記載するとおりです。

1. 提供物の著作権は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社（以下、富士フイルムビジネスイノベーションといいます。）ならびに原権利者に帰属します。
2. 提供物は、各提供物に対応する富士フイルムビジネスイノベーション製品（以下、本サービスといいます。）を利用する目的で日本国内においてのみ使用することができます。
3. 提供物を使用するにあたっては、各提供物に関して富士フイルムビジネスイノベーションが本サービスの利用規約ならびにユーザーガイドで明記する注意制限事項等を遵守してください。
4. 提供物の頒布、譲渡、販売、貸与、転載、営利目的での使用を禁止します。
5. 富士フイルムビジネスイノベーションおよび提供物の原権利者は、提供物を本サービスの利用規約ならびにユーザーガイドで明記する注意制限事項等で特定する以外の機器あるいはプログラムと組み合わせること、また提供物を改変することに起因して生じた損害、損失等に関し責任を負うものではありません。
6. 富士フイルムビジネスイノベーションおよび提供物の原権利者は、提供物に関し何らの保証責任および賠償責任を負うものではありません。

以上

目次

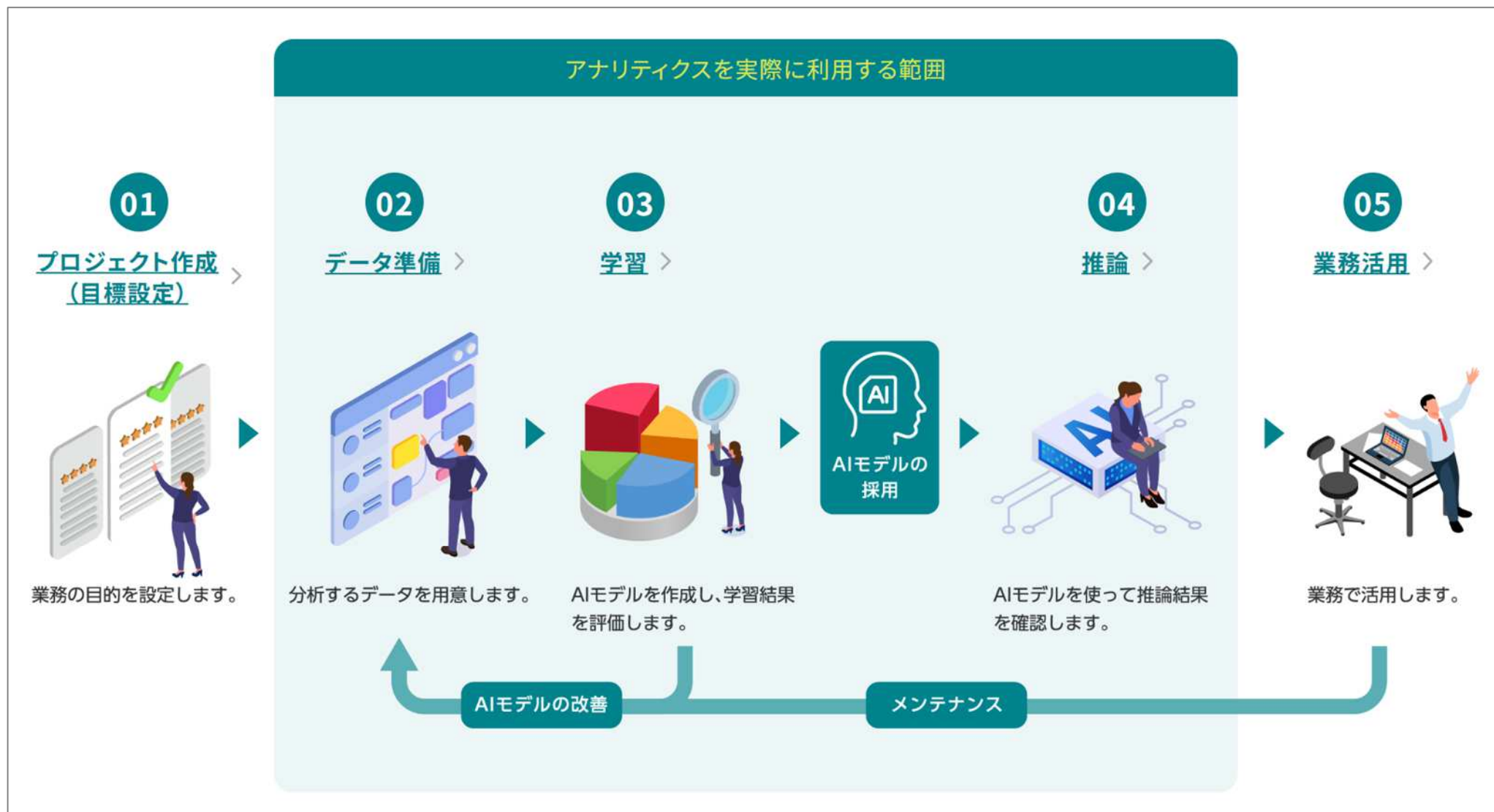
はじめに	本書で体験できること	P.6
体験環境の設定手順	FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプションへのアクセス	P.9
体験手順	体験手順【別冊参照】	P.14
主な仕様	主な仕様	P.15
お問い合わせ	お問い合わせ	P.17



はじめに

誰でも、簡単な操作でAIモデルを活用できる

FUJIFILM IWpro Intelligent Assistant オプションは、誰にでも簡単な操作で、AIの作成から推論までを行い、業務に活用することができます。



業務に合わせて選べる「分析タイプ」

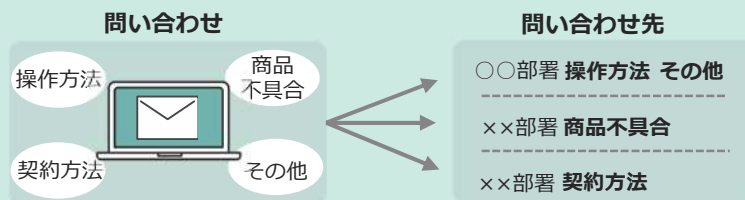
4つの「分析タイプ」メニューを用意しており、難解な特徴量生成やアルゴリズム開発のプロセスを意識する必要はありません。目的に合わせて「分析タイプ」を選択するだけで、AIを作成できます。

分類

あらかじめ設定された属性ごとに、適切なカテゴリーに振り分けます

分析タイプとは

分類の例



データを2つ以上のグループに分類

AI学習に使用するデータ例

推論する項目

学習に使用する項目

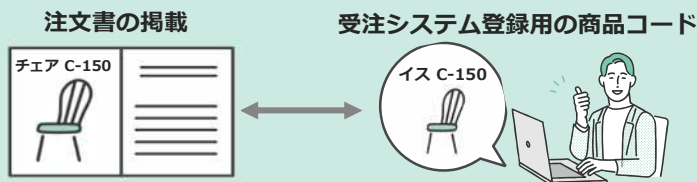
対応部門	問合せ方法	問合せ種別	問合せ内容
〇〇部	メール	操作方法	××××××××××
〇〇部	Web問合せ	その他	××××××××××
××部	メール	商品不具合	××××××××××
△△部	メール	契約方法	××××××××××

各部署の問い合わせデータ

データマッチング

2つのデータセットを比較し、一致または関連性の高い項目を見つけます

データマッチングの例



システム間で商品の名称が違っていてもマッチングが可能

学習に使用する項目

共通キー項目

学習に使用する項目

(取引先)商品名	個数	金額	品番	品番	カテゴリ	自社商品名	個数	金額
テーブル T-150	10	¥ 50,000	AA001	AA001	椅子	テーブル D-150	10	¥ 50,000
T-150	5	¥ 25,000	AB100	AB100	椅子	テーブル D-150	5	¥ 25,000
イス 50cm	10	¥ 10,000	AA111	AA111	家具	イス C-50	10	¥ 10,000
イス C-50	20	¥ 20,000	AA101	AA101	家具	イス C-50	20	¥ 20,000

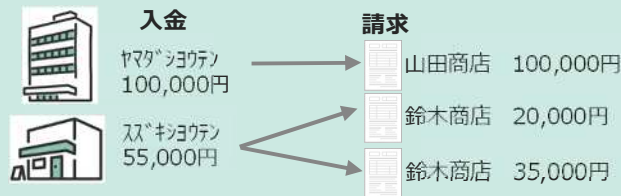
注文リスト (マッチング元)

受注システム (マッチング先)

入金請求突合

企業の略称や口座の違いなどを考慮した、最適な消込候補を提示します

入金請求突合の例



請求書と異なる金額や名称で入金されていても、請求書と紐づけできる

識別項目 学習に使用する項目

共通キー項目

学習に使用する項目

振込ID	入金日	入金額	振込人	請求ID	請求ID	請求日	請求額	請求先
1	9/29	¥ 100,000	ヤマダショウテン	A7C3B	A7C3B	9/15	¥ 100,000	山田商店
2	9/30	¥ 55,000	スズキショウテン	X9D2F	X9D2F	9/10	¥ 20,000	鈴木商店
2	9/30	¥ 55,000	スズキショウテン	J4K1M	J4K1M	9/10	¥ 35,000	鈴木商店
3	9/30	¥ 20,000	サウザン	Z6P8Q	Z6P8Q	9/10	¥ 10,000	佐藤電機
3	9/30	¥ 20,000	サウザン	B2L7T	B2L7T	9/10	¥ 5,000	佐藤電機
3	9/30	¥ 20,000	サウザン	H5N9R	H5N9R	9/10	¥ 5,000	佐藤電機

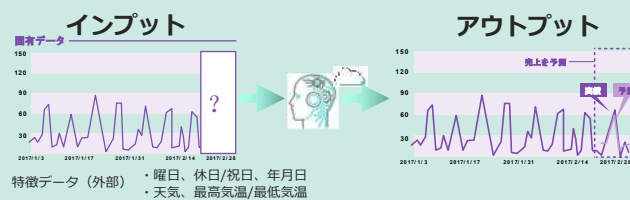
入金データ

請求データ

需要予測

過去データに気候情報などの要因を加味して、未来需要を予測します

需要予測の例



過去のデータに気候情報などの要因を加味して、将来需要を予測できる

推論する項目

学習に使用する項目

特徴データ (外部連携)

売上数量	販売日	商品	店舗	郵便番号
292	2025/5/23	プリン	東京店	100-0005
364	2025/5/25	プリン	東京店	100-0005
203	2023/5/22	プリン	大阪店	530-0001
142	2023/5/23	プリン	大阪店	530-0001
266	2025/5/23	チョコレート	東京店	100-0005
435	2025/5/24	チョコレート	東京店	100-0005
180	2023/5/22	チョコレート	大阪店	530-0001

販売実績データ

・カレンダー情報
・気象情報

本書で体験できること

4つの「分析タイプ」ごとに体験メニューを用意（別冊）しており、サンプルデータを用いてAIモデルの作成から、作成したAIモデルを用いた推論までを体験することができます。

過去データに、気候情報などの従来反映が難しかった要因を加味して将来需要を予測することで、無駄のない生産計画を推進し、需給バランスの安定とコスト削減による利益向上が期待できます。

- 過去の販売データとともに気温・天気の気候情報などを利用した需要の予測を体験できます。
- 販売機会を逃さず、かつ最適な商品供給を実現する生産計画の策定を体験できます。
- 周期性、季節性の影響範囲をデータに反映し、最適な製造量の調整を体験できます。

分類

商品生産量の最適化

学習

過去の販売データ

販売管理システム

学習

CSV

過去の販売データ

- 学習用データのCSVファイルをアップロードします。
- 作成するAIモデルの詳細を設定し、学習を開始します。

AIモデル作成・確認

AIモデルの作成

AIモデルの学習結果を確認

- 学習の完了後、作成されたAIモデルの精度や推論結果などの学習結果を確認します。

推論

販売予想データを出力

予測したい期間を設定

推論

予測結果データ

CSV

インプット

生産計画の調整

- 予測したい期間を設定し、推論を開始します。
- 推論の完了後、推論結果を確認します。

2つのデータセットを比較し、一致または関連性の高い項目を見つけることで、製品名称のマッチングにより、名寄せ作業の効率化を実現します。

- 表記揺れのある製品名称同士の類似度判定を体験できます。
- 類似案件の検索と対応履歴の参照を体験できます。

データマッチング

製品名の紐づけ

学習

過去の申込書データと受発注データの紐づけデータ

過去の申込書データ

学習

対応するよう紐づけた2つのデータ

CSV

CSV

受発注システムデータ

- 2つの学習用データのCSVファイルをアップロードします。
- 作成するAIモデルの詳細を設定し、学習を開始します。

AIモデル作成・確認

AIモデルの作成

AIモデルの学習結果を確認

- 学習の完了後、作成されたAIモデルの精度や推論結果などの学習結果を確認します。

推論

新規申し込みデータの準備

申込書と受発注システムのマッチングデータを出力

受注DB

マッチング結果データ

推論

CSV

インプット

新規申込書データ

紐づけ作業の実施

- 2つの推論用データのCSVファイルをアップロードし、推論を開始します。
- 推論の完了後、推論結果を確認します。

企業の略称や口座の違いなどを考慮した、最適な消込候補を提示することで、正確性の向上と工数削減を両立し、消込作業の効率化を実現します。

- 情報の揺らぎを考慮した照合パターンの学習により、最適な消込候補の提示を体験できます。
- 機械学習アルゴリズムによる高精度な入金・請求マッチングを体験できます。
- 過去の照合パターンの学習と適用により継続的に精度の向上を体験できます。

入金請求突合

入金・請求照合/照会

学習

過去の入金データと請求データの紐づけデータ

過去の入金データ

学習

対応するよう紐づけた2つのデータ

CSV

CSV

過去請求データ

- 2つの学習用データのCSVファイルをアップロードします。
- 作成するAIモデルの詳細を設定し、学習を開始します。

AIモデル作成・確認

AIモデルの作成

AIモデルの学習結果を確認

- 学習の完了後、作成されたAIモデルの精度や推論結果などの学習結果を確認します。

推論

新規の入金データと請求データのマッチングデータを出力

新規の入金データ

推論

入金データと請求データのマッチング結果データ

CSV

インプット

新規の請求データ

内容確認/消込作業の実施

- 2つの推論用データのCSVファイルをアップロードし、推論を開始します。
- 推論の完了後、推論結果を確認します。

AIがあらかじめ設定された属性ごとに、適切なカテゴリーに分類することで、問い合わせ内容の分類・振り分けを効率化し、顧客への迅速かつ適切な対応を実現します。

- 問い合わせ内容の自動分類と適切な担当への振り分けを体験できます。
- 問い合わせ内容の緊急度・重要度の判定を体験できます。
- 類似案件の検索と対応履歴の参照を体験できます。

需要予測

問い合わせ内容の分類

学習

過去の問い合わせデータと分類結果の準備

過去の問い合わせデータ

学習

問い合わせ分類結果

結合データ

CSV

学習

- 学習用データのCSVファイルをアップロードします。
- 作成するAIモデルの詳細を設定し、学習を開始します。

AIモデル作成・確認

AIモデルの作成

AIモデルの学習結果を確認

- 学習の完了後、作成されたAIモデルの精度や推論結果などの学習結果を確認します。

推論

新規問い合わせデータの準備

問い合わせ内容の分類結果データを出力

CRMシステム・問い合わせDB

分類結果データ

推論

CSV

インプット

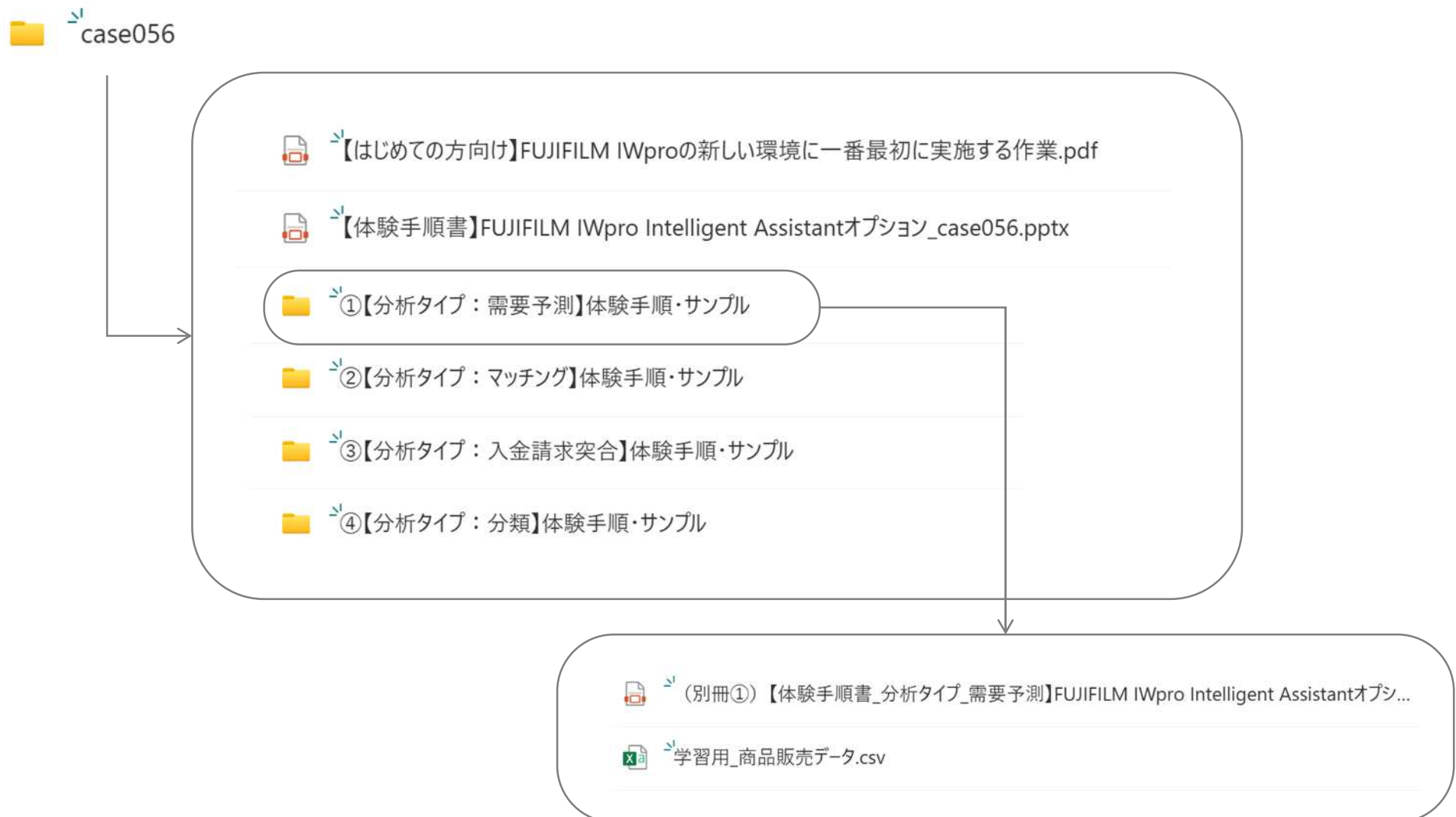
新規問い合わせデータ

(コールセンターから)お客様に回答

- 推論用データのCSVファイルをアップロードし、推論を開始します。
- 推論の完了後、推論結果を確認します。

本書で体験できること

4つの「分析タイプ」ごとに体験メニューを用意（別冊）しており、サンプルデータを用いてAIモデルの作成から、作成したAIモデルを用いた推論までを体験することができます。





体験環境の設定手順

FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプションへのアクセス（1/2）

1. FUJIFILM IWproにアクセスします。

体験のための基本的な環境設定が自動でセットアップされます。

<お試しサービス申し込み時のメールの場合>

登録コードの有効期限はこのメールの発信日から15日です。以降は(1)の方法をお使い下さい。

3. FUJIFILM IWproの利用開始

次のURLからログインしてFUJIFILM IWproをご利用できます。

▼ログインURL:
<https://fbwpro.fujifilm.com/>

4. FUJIFILM IWproのユーザーガイド確認

FUJIFILM IWproの使い方については、以下の各ガイドを参照ください。

▼FUJIFILM IWpro ユーザーガイド:
https://ocencds-fb.fujifilm.com/gen/fbiwpro_aux/help/ja/manual

5. サポート情報、問い合わせ先

ご利用・操作に関する不明点や、お困りごとなどがある場合は、以下のサポート情報をご参照ください。

サービス名 : FUJIFILM IWpro
無料利用期間 : 2023/12/21 ~ 2024/01/20
テナントID :

お客様によるパスワード初期設定

以下からパスワード初期設定を実施してください。

▼パスワード初期設定
<<https://direct-fb.fujifilm.com/ao2/setpassword?mailAddress=dgi-fb-mkt-otameshiadmin>>

FUJIFILM IWpro の利用開始

次のURLからログインしてFUJIFILM IWproをご利用できます。

▼ログインURL:
<https://fbwpro.fujifilm.com/>

①

<本契約申し込み時のメールの場合>

FUJIFILM Value from Innovation FUJIFILM IWpro ホーム

②

ユーザーID（メールアドレス）

☐ ユーザーIDを保持する

☒ パスワード

☐ 登録済み認証器を使用する

[パスワードをお忘れの方>](#) [ログイン](#)

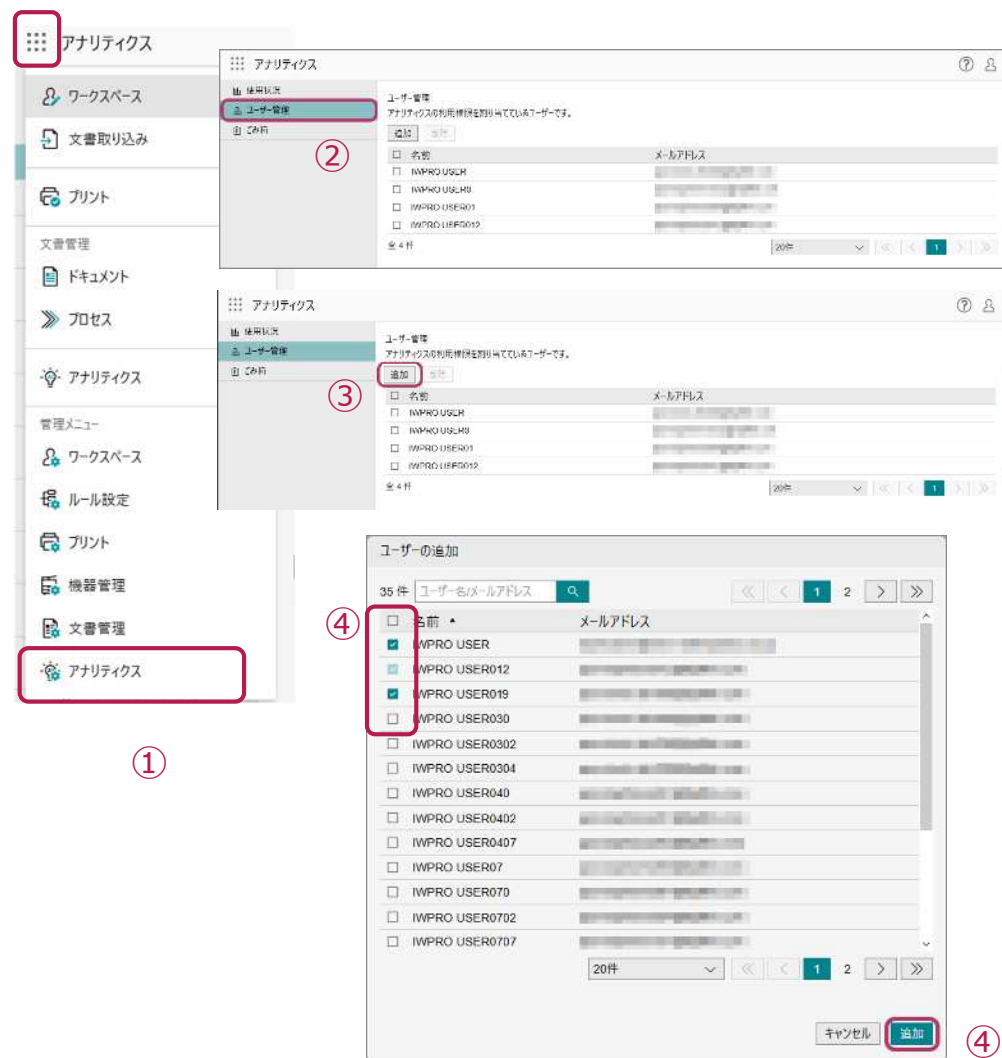
連携アカウントをログイン

[Office365](#) [onelogin](#) [Okta](#)

- ① 富士フイルムビジネスイノベーションより送信されたメールを表示し、「ログインURL」をクリックします。
- ② 富士フイルムBIダイレクトの「ユーザーID(メールアドレス)」と「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。

FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプションへのアクセス（2/2）

2. アナリティクスを利用するユーザーに利用権限を付与します。



① IWproのログインすると、ワークスペースが表示されます。
ランチャーメニュー（画面左上の9点リーダー）から「管理メニュー」の「アナリティクス」をクリックします。

② メニューから「ユーザー管理」をクリックし、ユーザー管理画面を表示します。


③ 「追加」をクリックします。

④ 追加するユーザーにチェックマークを付け、「追加」をクリックします。

以上でユーザーへの利用権限の付与は終了です。


体験手順【別冊参照】


下記の4つのケースをご準備しております。
それぞれのフォルダに格納されている体験手順書とサンプルデータをご利用ください。

 ①【分析タイプ：需要予測】体験手順・サンプル

 ②【分析タイプ：マッチング】体験手順・サンプル

 ③【分析タイプ：入金請求突合】体験手順・サンプル

 ④【分析タイプ：分類】体験手順・サンプル



主な仕様

主な仕様

項目		制限値	備考
サービス提供地域		日本国内のみ	
ユーザーインターフェース		日本語UIのみ	• ヘルプ、クイックガイドも日本語のみ
AIモデルの対象言語		日本語および英語	
学習・推論利用時間		基本50時間/月 最大200時間/月	<ul style="list-style-type: none"> • 月度内(毎月1日0:00から月末最終日23:59)の利用時間 • 月度が変わった場合、利用時間はリセットされ、残り時間は繰り越さない。 • 利用時間追加オプションで1ユニット:25時間追加が可能 最大6ユニット150時間(25時間×6：基本50時間を含め200時間)まで利用可能
1テナントの最大プロジェクト数		100	• 100を超えるプロジェクトを作成しようとするとエラーになります。
1テナントの最大ユーザー数		5,000	• StandardまたはLightライセンスが付与されたユーザー
最大学習・推論時間		7時間	• エラーで学習・推論を失敗した場合は課金の対象とはなりません。
1テナントの学習・推論同時実行可能数		学習：1件、推論：3件	• 同時実行可能数を上回った場合、実行中の学習/推論が終了するまでは「待機中」のステータスとなります。
1テナントの学習・推論待機可能数		学習：5件、推論：10件	<ul style="list-style-type: none"> • 待機数が上限を超えた場合、その学習/推論はエラーとなり、学習・推論の内容は保存されません。 • 待機順を管理者/ユーザーが知る方法はありません。
1テナントの学習・推論待機可能時間		42時間	<ul style="list-style-type: none"> • 待機時間が上限を超えた場合、その学習/推論はエラーとなり、学習/推論は保存されません。 • 待機時間は利用時間には含まれません。
学習・推論用データの最大ファイルサイズ		最大2GB	
学習・推論用データ(CSVファイル) のエンコード		UTF-8(BOMなし/BOMあり) Shift-JIS (CP932)	
分類	学習・推論データの最大行列数	行数:50,000行、列数:100列	
マッチング/ 入金請求突合	学習データの最大行数	参照元(入金)：40,000行 参照先(請求)：40,000行	• CSVデータのヘッダー行を除く
	推論データの最大行数	参照元(入金)：1,000行 参照先(請求)：20,000行	• CSVデータのヘッダー行を除く
	学習・推論データの最大列数	列数：50列	
需要予測	学習・推論データの最大行列数	行数：3行以上、300,000行以下 列数：2列以上、100列以下	• CSVデータのヘッダー行を除く
分析タイプ 共通	最大文字数	40,000文字以下	

お問い合わせ

ご利用・操作に関する不明点や、お困りごとなどがある場合は、以下のサポート情報・お問い合わせフォームをご利用ください。

▼サポート情報

<https://www.fujifilm.com/fb/support/software/fbiwpro>

▼ユーザーガイド

https://opencds-fb.fujifilm.com/gen/fbiwpro_aux/help/ja/manual/anly/html/anly_01_000000.html

▼ご購入済みのお客様の問い合わせフォーム

<https://www.fujifilm.com/fb/form/support/fbiwpro/contact>

※お問い合わせの際には、お客様番号が必要となります。お客様番号はお客様番号の確認方法について (<https://www.fujifilm.com/fb/support/software/fbiwpro/number>) からご確認ください。

▼ご購入前のお客様の問い合わせフォーム

<https://biz5.fujifilm.com/contact.html>



